

ロシア・カムチャツカ半島の溶岩流と溶岩チューブ洞窟 Lava Flows and Lava Tube Caves in Kamchatka Peninsula of Russia

本多力・立原弘・川村一之・勝間田隆吉 (Tsutomu HONDA・Hiroshi TACHIHARA・Kazuyuki KAWAMURA・Takayoshi KATSUMATA NPO 法人火山洞窟学会所属)

はじめに

ロシア・カムチャツカ半島はユーラシアプレートに太平洋プレートが沈み込む地域にあり(図1参照)、沈み込み帯と平行に3列の火山列を形成している⁽¹⁾。爆発的な噴火が特徴的な成層火山や、溶岩流を噴出が特徴的な盾状火山が存在している。北から南へ、シベルチ火山、クリュチェフスカヤ火山、トルバチク火山、クロノツカヤ火山、ゴーレリ火山等が列をなしている(図2参照)。その最高峰はクリュチェフスカヤ火山で噴火により高さが増すがその標高は4750m-4850m、溶岩流を流し溶岩チューブを形成するのが特徴的な火山としてトルバチク火山(図3参照)、ゴーレリ火山(図4参照)等がある。

これまでの溶岩チューブ洞窟の調査と、最近の噴火による溶岩流と形成された溶岩チューブの検討状況について紹介する。

カムチャツカ溶岩洞窟の今までの調査

ペレストロイカによりソ連邦が崩壊したのは1991年で、それ以前は外国人のカムチャツカへのアクセスは極めて限られていた。それ以前にトルバチク火山が1975

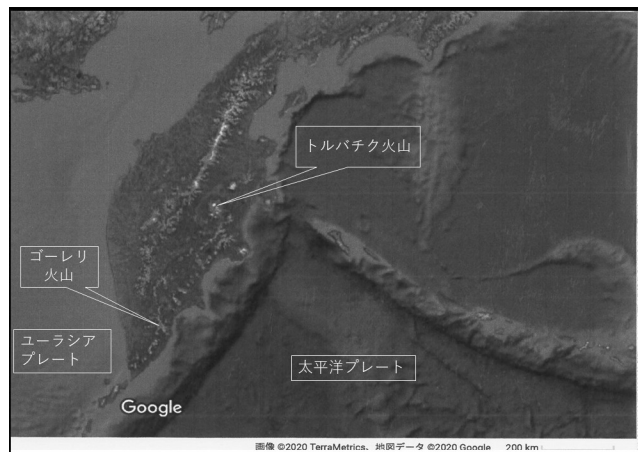


図1 カムチャツカ半島の Google 地形図

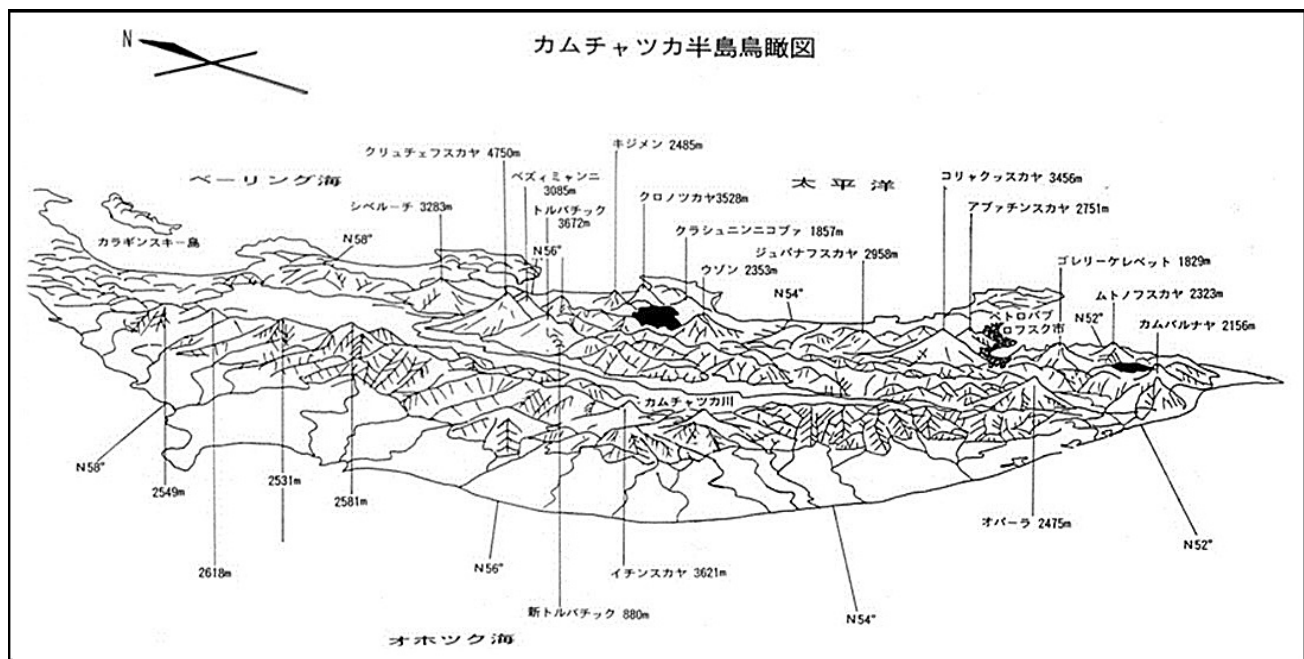


図2 カムチャツカ半島の火山列

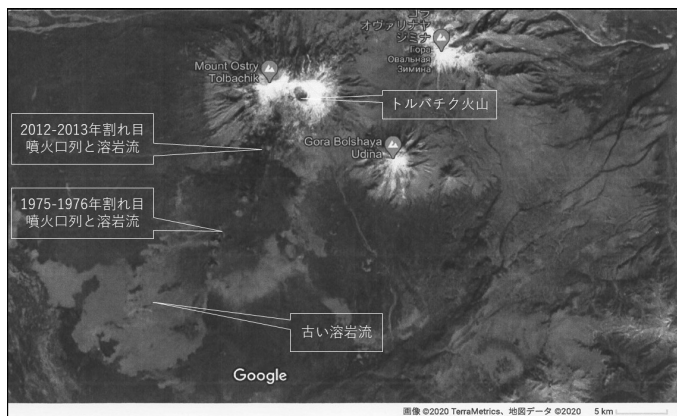


図3 トルバチク火山と溶岩流分布

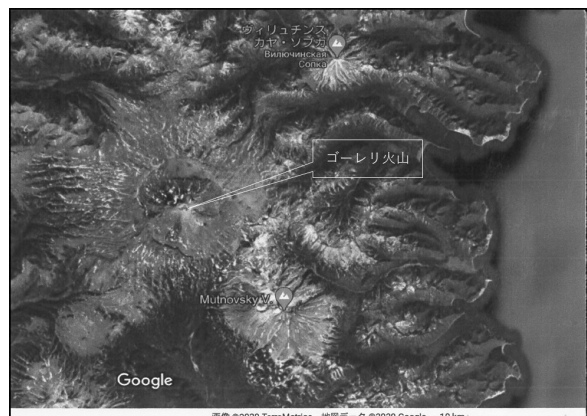


図4 ゴーレリ火山と溶岩流分布